



## 第15回若者力大賞 表彰式開催予定

2024年2月6日(火)午後6時より 東京・六本木ヒルズ・ハリウッドホールにて

第14回若者力大賞  
表彰式スピーチ  
全容はこちらから



## Global Education Training

大学生・高校生向け、体験型海外研修・研修指導員同行  
2024夏ベトナム7泊8日・近日募集開始



### 学年や学校の垣根を超えたグループワーク

コロナ禍で控えていましたグローバル・エデュケーション・トレーニング  
「GET・ゲット」を来年夏に催行いたします

滞在訪問  
予定地 **ハノイ・チャンアン**

千年の歴史を持つ古都ハノイ旧市街タンロンの  
古き良き街並みと世界複合遺産チャンアン



### 観光では体験できない研修内容

- ホームステイ
- 日本語を学ぶ現地学生との交流
- 小学校での訪問授業
- 海外で活躍する日本企業・機関訪問

「海外が初めて」「何かにチャレンジしたい」  
「英語は苦手」皆さん大歓迎です



### 入会 のご案内

当協会は、協会の活動にご賛同いただく皆様からのご支援で運営されています

【法人会員】600,000円(年間)

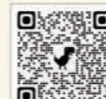
【個人会員】一口 5,000円

法人の方は、所得控除の適用となります(非課税扱い)。  
個人の方は、所得控除・税額控除のいずれかを適用できます。  
ご入会希望の方は下記ホームページよりお問合せください。

当協会のホームページはこちら



〒105-0002 東京都港区愛宕1-6-7 愛宕山弁護士ビル8F  
TEL: 03-6441-0581 FAX: 03-6441-0582  
web: <https://www.youthleader.or.jp> mail: [day@youthleader.or.jp](mailto:day@youthleader.or.jp)



# YOUTH LEADER

Development Association for Youthleaders

## 2023 AUTUMN Vol.152



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

〒105-0002 東京都港区愛宕1-6-7  
愛宕山弁護士ビル8F  
TEL: 03-6441-0581 FAX: 03-6441-0582  
web: <https://www.youthleader.or.jp>  
mail: [day@youthleader.or.jp](mailto:day@youthleader.or.jp)

## CONTENTS

第14回若者力大賞  
表彰式スピーチ ..... P.2-4

LEP活動報告  
淡路島研修旅行  
Meet the people - 隈丸理事長「大使の仕事」  
18プロジェクト同窓会 ..... P.5

さくらサイエンスプログラム(ベトナム・タイ)  
赤城プログラム(ベトナム) ..... P.6

2023年度活動 ..... P.7



# 第14回若者力大賞表彰式スピーチ (抄録)

The 14th Youthleader Awards

表彰式は、2月20日(月)に六本木ヒルズ・ハリウッドホールにて開催しました。  
スピーチの全容は公式YouTubeチャンネルで



## ◆開会挨拶(永野毅 審査委員長・当協会会長)



今日は皆さんにお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

この若者力大賞は、日本ユースリーダー協会設立40周年を記念して2009年に創設されました。自由な発想力とチャレンジ精神を持って社会を少しでも良くしたいと、そして陰徳の精神を持って日頃は目立たなくても自ら果敢に行動を起こして、同じ世代の人たちに夢や希望や勇気を与える若者の活動に、すなわち若者力に対して光を当て続けてまいりました。今、世界はパンデミック、戦争そして自然災害や格差など、たくさんの大きな課題に悩まされています。日本もまた人口減少、少子高齢化、地方の衰退、あまたの課題に立ち向かっているところです。しかし私たちは立ち止まっているわけには参りません。たとえ人口減少社会においてもどんな未来をこれから作っていききたいかという、今の言葉で言う「Future Design」を果敢にみんなで想像し、一つ一つその課題を解決して歩みを進めていかなければなりません。そのために最も大切なことは課題を解決して地域をリードするリーダーの存在です。地域や日本や地球の未来をリードする自立性・主体性あふれる若者の存在です。

今年を受賞者全員の方々に共通していることは、やるべきことを淡々とやって、苦勞を決して表に出さない前向きさです。これらは未来をつくる若者に求められる共通の資質なのかもしれません。また、今回初めて若者力大賞に個人ではなく団体が選ばれました。一隅を照らし、周囲を照らし、社会を照らし、そして未来をつくる若者が繰り広げるこの共感のドラマを、どうか皆様最後までお聴きくだされば嬉しく思います。改めて受賞者の皆さん本当におめでとうございました。



## 視覚言語と音声言語の「異なる」を楽しむ世界を創る

一般社団法人異言語 Lab. は、手話を第一言語として活動している団体です。「異なるを楽しむ世界を作る」をミッションに活動を続けています。私自身も生まれつきのろう者です。例えば目の前で聞こえる人同士がお話をしていても、何を言っているかわかりません。自分の言いたいことも言えないという思いをたくさん積み重ねてきました。長年抱えている思い、あなたのことをわかりたい、私の思いを伝えたいということが異言語 Lab. の脱出ゲームを作る原動力となっています。

異言語脱出ゲームは手話を使って謎を解いていきます。視覚言語と音声言語の、言語が異なる者同士が協力して進めていく仕組みです。音声言語で得た情報と視覚言語で得た情報を掛け合わせると謎が解けていく。そしてミッションクリアにつながるというゲームです。最近では手話がわからない聴者が異言語脱出ゲームに参加して、魅力

に取り憑かれて団体に入ってくれる方も少しずつ増えてきています。

ここで、印象に残っているお話をさせていただきます。異言語脱出ゲームのために道具を作りたいと思い、ろうのおじいさんに製作を頼みました。その方は音声言語を使わず、日本語は第二言語の方です。その方と一緒にホームセンターに行きました。その時にそのおじいさんが店員さんと手話や身振り、簡単な筆談日本語を交えながら、ご自身なりの伝え方でコミュニケーションを取っていたのです。店員さんも初めて見る手話や身振りに戸惑いながらもコミュニケーションの試行錯誤で通じ合っている、本当に楽しそうな姿を見ました。その様子が今でも印象に残っています。

手話がなければ今の私はありえません。手話はろう者にとって言語であり生きる力そのものなのです。聴者の方が何気なく参加ができるような映画、舞台、謎解きゲームなどたくさんありますが、私たちろう者は手話通訳や字幕表示がないために諦めざるを得ない状況があります。また、ろうの子供が「パイロットになりたい」「看護師になりたい」と言っても大人たちや社会が「ろう者なのにコミュニケーションできないでしょ」と道を閉ざしてしまう、そんな状況がまだまだ続いています。私たちは質の良い体験型のエンターテインメントを使って本質的に社会を変えられると思っています。先ほどお話した、ろうのおじいさんと店員さんとの試行錯誤の末の向き合い方、そんな機会をたくさん作っていきたくと思っています。

皆さんの一人一人の中に「異なる」があると思います。一人一人が自分らしく生きていけるような社会を作っていきたくと思っています。どうぞ皆様これからも応援よろしくお願いします。本当に栄えある賞を頂き、誠にありがとうございました。

## 異言語Lab.のパフォーマンス「若い力で社会を変えましょう！」

手話の意味を当てるゲームでろう者・聴者ともに会場は盛り上がりました。

1問目は、初めに赤ちゃんを表す手話、老人を表す手話を見ました。次に「右手のひらを開いて横向きにし、額の左から右へ動かす」手話を推測するクイズでした。答えは「若い」でした。

2問目は、「左の二の腕に、右人差し指で力こぶを描き」何かを運んでいます。そしてタービンが回り、それぞれの家庭で電気がつく情景です。これは「力」を表していました。

3問目は、はじめに「人」や「人々」の手話を覚え、「人々の周りに円を描く」手話でした。こちらは「社会」を表しました。

4問目は、電話機の変遷のスライドを見ました。電話機製造技師が古い電話機から、新しい性能の電話機に変える様子を「口を力強くつぐみ、手で半円を描く手話」で表し、「変える」という手話を表現していました。以上の4つの手話をつなげて文章を作ってみたところ、「若い力で社会を変えましょう！」という力強いメッセージが出来上がりました。



### ユースリーダー賞



うい よしみ  
宇井 吉美さん  
株式会社aba 代表取締役兼CEO

## 介護の「わからない」を減らし介護がしたくなる社会を実現する

私たちはテクノロジーで誰もが介護できる社会を作っていこうと考えています。私は中学生の時に同居していた祖母が病気がなったことがきっかけで、こんな辛いこと、こんな辛い介護は誰かに代わってほしい。そんなことを考えて介護ロボットの道に入りました。起業した後、平日は技術開発をして土日は介護職をするという生活を3年ほどしていました。その中で私が介護現場の方々に教えていただいたのは、介護は本当は楽しいという事実です。

私たちは排泄というところに向き合って、ヘルパッドという排泄センサーを作りました。シートの中に何個か穴が開いていて、そこから排泄の匂いを吸い込んでいます。人間の鼻のように匂いで排泄がわかる製品になっています。職員さんたちや家族介護者の方はスマートフォンやパソコンで情報を受け取って、おむつ交換ができます。

私が目指しているロールモデルはナイチンゲールです。彼女はナースコールを作りました。彼女は壁と天井にすべて縄を張ってベルを鳴らせばナースステーションのベルが鳴るという仕組みを作りました。つまり我々 aba が現場に届けているものはある意味ナースコールの再発明なのかなという風に思っています。そしてイノベティブな製品を開発している人間として、私は現代のナイチンゲールになりたいと思っています。

今日の賞をいただいたことを一つのきっかけとして、現代のナイチンゲールとしてより一歩一歩前に進めるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。

### ユースリーダー賞



あさかわ じゅん  
浅川 純さん  
株式会社Pale Blue 共同創業者兼代表取締役

## 水を推進剤としたエンジンで小型衛星を自由に移動させる

小型の人工衛星を宇宙で自由に動かすための水を推進剤としたエンジンを作っています。今、宇宙産業が非常に盛り上がりつつあります。宇宙産業の成長を牽引している大きな要因の一つが小型の人工衛星です。衛星が宇宙で自由に動き回るためにはエンジンが必要不可欠ですが、現状の小型衛星はほとんどがエンジンを搭載していません。

ようやく昨年から今年にかけて Pale Blue として作った水エンジンが宇宙に打ち上げられています。当初目標としていた水エンジンの宇宙での作動は達成されてきている形になっています。今後はより多くの需要に応えられるように水エンジンを供給できるような体制作りに私としてあるいは会社として力を入れていきたくと思っています。宇宙開発は非常に意義があるものだと思っており、この努力を通じて人類の発展に貢献していきたいと思っています。

ユースリーダー賞



かわくち かな  
**川口 加奈さん**

認定NPO法人Homedoor 理事長

### 14歳の時からホームレスを支援し再出発に寄り添っている

私達は大阪でホームレスの人の路上脱出のサポートをしている団体です。きっかけは私が14歳の時になります。大阪には日本で最もホームレスの人が多くエリアがあります。そこがちょうど通学路だったので、中学生になった私は電車毎朝毎晩ホームレスの人を見かけるようになりました。

当時年間200人以上が路上で亡くなられていました。どこの誰ともわからず名前もわからず無縁仏になってしまう。人間って、生まれてくる時にいろんな人に祝福されて生まれてくるはずなのに、亡くなる時固い路上で一人孤独に亡くなってしまいます。そんな日本は嫌だなと私は思い、17歳の時に1枚の絵を描きました。とりあえずここに来たらなんとかなる。そんな施設の間取り図だったんです。どんな人でも働ける仕事がある。ここに来たらいつでもあったかい栄養の取れる食事が食べられる。そしてゆっくり休める個室が用意されている。そんな施設でした。

19歳でHomedoorを起業してまず取り組んだのが仕事づくりです。ホームレスの人が得意とする自転車修理の技術を生かして始めたのがシェアサイクル「ハブチャリ」というサービスでした。そして5年前には念願だった「アンドセンター」と名付けた施設を作ることができました。ホームレス状態からもう一度やり直したいと思った時に、やり直せる機会がある。チャンスがある。選択肢がある。その選択肢が多様であればあるほど、もういっぺん頑張ろうという機会を作れるんじゃないか。そんな風に思っています。仕事も今は7種類提供しています。

誰もが何度でもやり直せる社会へ。ぜひそんな社会の実現に向けて、皆様にご協力いただけたら嬉しいなと思っています。

ユースリーダー支援賞(個人)



いけがみ けい  
**池上 京さん**

株式会社MIRAing(ミライング)代表取締役社長

### 実践的な次世代リーダー教育でイノベーションを生む人を育てる

我々が中高生や大学生の方々に提供している「TOPPA」プログラムでは、新しいビジネスを提案したり、社会課題解決のアイデアを提案するプロジェクトをチームで行い、リーダーシップを学んでもらいます。教育は、日本だけではなく世界でも100年以上前から大きく変わっていません。先生が言ったことを書いて、板書したものを書いて記憶してテストに臨む、そういった仕組みは大きく変わってきませんでした。私はそこに中学・高校の時から非常に違和感を感じていました。またちょっと目立ちすぎると特に日本の教育現場だと「出る杭は打たれる」ところがあり、そこに自分なじめなかったのです。

社会をもっと良くしていきたい。そういう問題意識を持って、大学を卒業して私はJICAの中東地域の現地事務所国際協力を行いました。その中で感じたのが、資金援助や技術援助だけでは充分ではなく、実際にそれを実行できる人が育っていかないと、結局社会は変わ

ていかないということでした。そして2021年の2月に起業し、この2年間続けて来ました。

最近すごく嬉しかった話があります。プログラムに参加してくれた高校3年生がいました。彼はTOPPAプログラムに参加して本当に自分が変わったということでした。「プログラムを通じてリーダーシップをどうやって取ったらいいか、どういう風に自分の未来を描いていくべきか」というところを学ぶことができました」というメッセージをもらいました。少しでも多くのリーダーを育てていけるように、これからも頑張っていきたいと思っています。

### ◆閉会の辞(熊澤匠 実行委員長)



受賞者の皆様本当におめでとうございました。「若者力」と言う時に皆様が一番先に思い浮かべる事は何でしょうか。年齢が若いということでしょうか。ちょうど1か月前に娘が生まれました。この最も若い世代とのコミュニケーションを繰り返して思うことは、娘は伝わらないけれど、よく見ているととにかく何かを主張することを繰り返しているようです。その力を私は若者力なのではないかと感じます。それを今日皆さんと一緒に感じさせていただいたと思います。音がなくても言葉が通じる。パンデミックが来て伝えられないかもしれない、それでも伝えていく。伝わらないかもしれないけれどとにかく相手に届けるといふ力。これを若者力と言うのではないか。そのあがきこそ若者力ではないか、というふうにはこの1年考えて来ました。未来にわからないことが色々ある世の中で、きっと分かり合える、きっと異なるを楽しめる、そういう瞬間にたどり着けるのではないかと願いを込めて、閉会の挨拶とさせていただきます。



## LEP活動報告

Leaders Education Program



大学生を対象に、自主・自立・日本人らしさを身につけ、考え、行動する、未来のリーダーを育成する為のプログラム

※詳細については2023年度活動  
\* : LEP生関連行事をご覧ください



◀学校の垣根を越えて、「幅広い世代間」で交流しています

### 淡路島研修旅行 2023年8月4日~5日 LEP生8名参加

目的：淡路ラボへの訪問を通じて、起業家精神や地方創生、まちづくりについて学ぶ。若者が一つの島に集い活気あふれる地域になっている理由を探る。

行程：(1日目) 淡路ラボ訪問、伊弉諾神宮参拝、バルシェ香の館訪問  
(2日目) 兵庫県三田市のLEP生の親戚のお寺を訪問、有馬温泉体験



### Meet the people-隈丸理事長(元駐カンボジア大使)と対談~「大使の仕事」「国際情勢」について~

2023年7月26日 15:00 - 16:30 武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 (津吹ゼミ生11人・LEP生3人)

2023年7月26日 19:00 - 21:00 ZOOM (LEP生・LEP OB生8人)



▲武蔵野大学アントレプレナーシップ学部津吹ゼミ



▲夜のZOOMオンライン交流

#### 参加学生からの感想

隈丸さんのお話を通して、カンボジアの政治的背景や成り立ちを知る機会になりました。普段接することがあまりない、大使館や大使の仕事の取り組みについて知ることができました。カンボジアと日本、そして周辺国との関係や国同士のいろいろな外交戦略を学べてすごくいい機会になりました。わたしたちは個々のミクロな視点しか持っていなかったけれど、さまざまな国で活躍されてきた隈丸さんだからこのマクロな視点のお話を聞くことができ、とても興味深かったです。ありがとうございました。

### 18プロジェクト同窓会 昨年夏の18プロジェクト(下記)に参加した高校生達が、大学生の企画に大きな刺激を受けて、「18プロジェクト同窓会」を企画し、入念な準備で再会を果たしました。



実施日：2023年3月12日 於 協会事務局 内容：①小グループに分かれてブレインストーミング ②1分間スピーチ「これからの1年挑戦したい事」 ③「富と貧困ゲーム」各国のグループに分かれて、その国の労働力や資源の状況下で、いかに正確な寸法で、ユニークなデザインを施した立方体をより多く生産できるかを競うゲーム



▲2022年8月 (大学生が企画したプロジェクト)



▲2023年3月 (高校生が企画した18プロジェクト同窓会)

**18プロジェクトとは** 大学生(LEP生)が高校生のために何かをしたいという想いから企画して、高校生4人、大学生(LEP生)8人が参加したプログラムでした。

実施期間：2022年8月19日~20日

於 国立記念オリンピック青少年総合センター  
プロジェクト内容：①成人について考えるディスカッション

②大学生のこれまでの体験についての発表・パネルディスカッション ③1年後の自分への手紙を書き、みんなに宣言する

#### 参加者からの最近の便り

18プロジェクト同窓会は、私にとって初めて企画をする機会となりました。18プロジェクトの時には一参加者でしたが、企画・運営をしていた大学生の皆さんに憧れて、同窓会の企画に挑戦しました。企画を進める中で、意見を分かりやすく伝えることの難しさや、何かを一から創る大変さを学びました。当日は18プロジェクトのメンバーと再会してお互いの成長を感じることができました。(高校2年生)

最近、児童保育のアルバイトをして子ども達から元気をもらっています。大変なことがとても多い毎日ですが、学ぶことも多く自分らしく過ごしています。(大学1年生)

# さくらサイエンスプログラム／赤城プログラム

International exchange project event report

## さくらサイエンスプログラム開催報告



さくらサイエンスプログラムは、日本の最先端の科学技術について学習し、様々な人的交流を通じて両国の友好と科学技術の発展に寄与する人材の育成を図っています。  
日本ユースリーダー協会では、これまでオンライン交流も含めて13回にわたり208人も参加者を受け入れてきました。

- ・主催  
国立研究開発法人科学技術振興機構
- ・受入れ実施機関  
公益財団法人 日本ユースリーダー協会

### 1 さくらサイエンスプログラム(ベトナム人学生受け入れ) — 2022年11月14日~20日

(参加者) 高校生15人・引率3人

ベトナム各地の理数教育に力を入れている高校から参加  
(内容) 学校訪問 - 化学の授業に参加(品川女子学院高等部)、企業訪問 - 実際の現場を見学(アサヒビール茨城工場、トーヨーカネツ株式会社 千葉事業所、三谷産業株式会社 東京本社)、その他: 新江ノ島水族館、鎌倉の大仏、科学技術館、浅草、箱根、学習してきたことの意見交換会、日本人大学生(LEP生)との交流



▲品川女子学院高等部で化学の授業に参加



▲鎌倉・江ノ島訪問

### 2 さくらサイエンスプログラム(タイ人学生受け入れ) — 2023年6月6日~12日

(参加者) 高校生4人、大学生3人、引率3人

ロボットを専攻する学生達が来日

(内容) 企業訪問 - AI技術について学ぶ(トーヨーカネツ株式会社 千葉事業所・横河電機株式会社)、学校訪問 - 化学・物理・国際関係の授業に参加(品川女子学院高等部・芝国際高等学校・武蔵野大学アントレプレナーシップ学部)、その他(武蔵野クリーンセンター・池袋防災館・日本科学未来館・KAWASAKI ROBOSTAGE)、日本人大学生(LEP生)との交流

参加満足度

タイ人学生  
大変満足  
10人中10人

日本人学生  
大変満足  
6人中6人

**タイ人学生からの声「プログラムに参加するメリットとは」**  
就職・人生の選択が広がる8人/日本の科学技術に対して更に関心が高まる7人/修了証書が日本の大学を受験する際、日本での就職活動の際に役に立つ6人/日本に更に関心を持つようになり、国際的な視野が広がる5人/日本人の文化や生活を見ることができた1人

**日本人高校生からの声「体験をどう生かしていきたいか」**  
日本のことを英語で説明できるようにし、国際交流をもっとできるようにする/もっと英語を話せれば楽しいと思うので英語の授業を頑張ります! 世界のことを知りたいと思ったし、様々な価値観に触れることが出来たので一つの事に関して様々なものの見方をしてみようと思う/他の文化を持った人と関わることで自分の知らないことを知り、社会に出た後に他と関わることの重要性を知った



▲両国の学生達で「ドラえもん」を熱唱



▲法人会員企業 トーヨーカネツ株式会社 千葉事業所訪問

## 赤城プログラム開催報告

2023年9月28日~10月5日

群馬県世界青年友の会と共にベトナム人学生の研修を行いました。

(参加者) 高校生2人、大学生2人、引率2人 (内容) 群馬県で5日間(中之条町役場訪問・中学/高校訪問・ホームステイ)、東京で2日間(三谷産業株式会社東京本社訪問・日本人大学生と一緒に東京観光)を過ごしました。



▲沢渡温泉街の高台に鎮座する「澤渡神社」で参拝



▲吾妻中央高校で介護実習体験



▲法人会員企業 三谷産業株式会社東京本社訪問



▲浅草観光の途中でもんじゃ焼きを堪能

# 2023年度活動

Activities in 2023

\*: LEP生関連行事

## 2023年度上期活動実績

- 4月
  - 13日(木) 第1回運営幹事会
  - 18日(火) 第1回理事会
  - 20日(木)\* LEPキックオフMeeting
  - 28日(金)\* LEPアワー(新メンバー顔合わせ)
- 5月
  - 11日(木) 第2回運営幹事会
  - 15日(月)\* LEPモルディブオンライン交流準備会議
  - 16日(火)\* LEPアワー(ザンビア・島根県隠岐郡海士町滞在体験談)
  - 18日(木) 評議員会
  - 27日(土)\* LEP異言語脱出ゲーム参加



▲5月評議員会

- 6月
  - 6-12日(火-月)\* さくらサイエンスプログラム(タイ人学生招へい)
  - 15日(木) 第3回 運営幹事会
  - 15日(木)\* LEPアワー(私の大学生生活体験談)
  - 17日(土) AJAFA-21 TV Conference
- 7月
  - 13日(木) 第4回運営幹事会
  - 15日(土) AJAFA-21 TV Conference
  - 26日(水)\* Meet the People-隈丸理事長「大使の仕事」ワークショップ
- 8月
  - 4-5日(金・土)\* LEP 淡路島研修旅行
  - 12日(土)\* 第15回若者力大賞 第1回選考委員会
  - 20日(日)\* LEP夏の食卓会
  - 26日(土)\* 第15回若者力大賞 第2回選考委員会



◀第15回若者力大賞 第1回選考委員会

- 9月
  - 8日(金)\* LEPアワー(LEP誕生秘話)
  - 16日(土) AJAFA-21 TV Conference
  - 21日(木) 第5回 運営幹事会
  - 27日(水)\* LEPアワー(中国留学・インド研修体験談)
  - 28日-10月5日(木-木)\* 赤城プログラム(ベトナム人学生招へい)

## 2023年度下期活動予定

- 10月
  - 6日(金)\* 事務局アワー
  - 11日(水)\* 第15回 若者力大賞 第3回選考委員会
  - 12日(木) 第6回運営幹事会
  - 14日(土)\* 東京ユナイテッドバスケットボールクラブ観戦
  - 17日(火) 第2回 理事会
  - 19日(木)\* LEP生とモルディブ大学生とのオンライン交流



- 21日(土) AJAFA-21 TV Conference
- 27日(金)\* 第15回 若者力大賞 審査委員会
- 27日(金)\* LEPアワー(学生間近況報告)

- 11月
  - 9-12日(日)\* AJAFA-21 27th RLF(ラオス)
  - 16日(木) 第7回運営幹事会
  - 29日(水)\* 法人会員懇談会
  - 未定\* Meet the People-熊澤理事「社長の仕事」

- 12月
  - 11日(月)\* 日-ASEAN友好50周年 記念来日イベント
  - 14日(木) 第8回 運営幹事会
  - 20日(水)\* LEP生とモルディブ大学生とのオンライン交流

## 2024年

- 1月
  - 18日(木) 第9回運営幹事会
- 2月
  - 6日(火)\* 第15回若者力大賞表彰式
  - 15日(木) 第10回運営幹事会
  - 29日-3月3日(木-日)\* AJAFA-21 36th Executive Council Meeting 東京開催(青年研修事業 40周年記念式典を含む)

- 3月
  - 14日(木) 第11回 運営幹事会
  - 16日(土)\* LEP修了式
  - 21日(木) 第3回理事会